

中経連

9・10
2024
September・October
Vol.373

未来につなぐ
地域の文化

彼岸花で彩る「ごんぎつね」の風景



千字
万感

株式会社エアウィーヴ
代表取締役会長兼社長
高岡 本州

特集

STATION Ai

- 第13回定時総会
- 中経連会員コラム「コーヒーブレイク」
清和海運株式会社 代表取締役社長 宮崎 祐一

CONTENTS

- 1 千字万感
株式会社エアウィーヴ 代表取締役会長兼社長 高岡 本州
- 2 第13回定時総会
5 静岡県との懇談会 / 三重地域会員懇談会
- 6 特集
STATION Ai
- 9 委員会活動
10 中経連ダイジェスト
- 13 中経連会員コラム「コーヒーブレイク」
清和海運(株) 代表取締役社長 宮崎 祐一
- 14 Garage Nagoya Topics
18 最近の要望活動
- 20 新入会員紹介
(株)アイエーシーインターナショナル / (株)シーエナジー
- 22 会員入会のお知らせ

表紙 | 未来につなぐ地域の文化

彼岸花で彩る「ごんぎつね」の風景 愛知県半田市

愛知県半田市は「ごんぎつね」「手ぶくろを買いに」などで知られる児童文学作家・新美南吉(1913年～1943年)のふるさとです。9月末、南吉の生家そばを流れる矢勝川沿い全長1.5kmにわたる堤防には、真っ赤に色づいた300万本以上の彼岸花が咲き誇ります。これは1990年、一人の地元の方が、「ごんぎつね」の作中に出てくる彼岸花をヒントに、南吉がよく散策した矢勝川一面を真っ赤に染める幻想的な風景を描こうとした活動から始まりました。1995年には「矢勝川の環境を守る会」が発足し、一年を通して彼岸花の株分けや植栽、草刈りなどの環境整備を続けた結果、今日では、愛知県で最も有名な彼岸花の名所として知られています。



秋の開花時期には「ごんの秋まつり」が開催され、矢勝川堤防や新美南吉記念館の周辺は、さまざまなおもてなし企画や南吉にまつわる展示などで賑わいます。また、同市内には、南吉の生家をはじめ童話のモデルとなった寺や墓地、文学碑などが多数現存しています。この秋、半田市へ南吉ゆかりの地をめぐる散策に出かけてみてはいかがでしょうか。

「ごんの秋まつり」は9月20日(金)から10月4日(金)まで開催。



提供：特定非営利活動法人半田市観光協会、参照：半田市観光協会HP(半田市観光ガイド)



“モノづくり地域・中部”から 「睡眠の質」を世界へ

株式会社エアウィーヴ 高岡 本州
代表取締役会長兼社長

千
字
万
感

エアウィーヴは、なぜオリンピックにこだわるのか。

オリンピックの開催は4年に1度。出場選手にとって試合前日の睡眠は、人生で最も重要な睡眠です。その選手たちに選ばれる寝具を作ることとずっと目指してきました。今年のパリ2024オリンピック・パラリンピックでは、選手村約16,000床全てに寝具を提供しました。一人ひとりの体形に合わせてカスタマイズできる寝具を東京2020大会に続いて提供できたことは、私どもにとって大きな誇りとなりました。

私は愛知県に生まれ、学生時代を過ごしました。この地域はトヨタ自動車をはじめとしたモノづくりで潤っており、周りは比較的恵まれた家庭が多かったです。当社は愛知県幸田町で創業し、2007年にマットレスパッド「エアウィーヴ」を販売開始して以来、「モノづくりで社会に貢献したい」という想いで事業を進めてきました。中部地域で盛んな自動車関連産業とも通じるものがあると思っています。

1950年代、トヨタ自動車は「クラウン」のアメリカ輸出を始めましたが、ハイウェイでの馬力不足や振動を指摘され、輸出停止を余儀なくされたと聞いています。今では世界を代表する会社でも、当初は世界との大きな差を感じていたということです。エアウィーヴも海外進出の夢を実現すべく、2015年にニューヨークに路面店を出店しました。しかし、輸送時に商品の半数以上が破損してクレームや返品が相次ぎ、2年で撤退することになりました。私はその時、勝手にトヨタ自動車がかつてハイウェイで味わった思いと重ね合わせていました。大失敗のおかげで「3分割マットレス」の発想が生まれ、現在の主力商品であるカスタマイズ可能なマットレスの誕生につながりました。

当社がオリンピックにこだわるのは、自動車メーカーがカーレースに挑み続けるのと似ているのではないかと考えています。オリンピックアスリートは、エアウィーヴにとってイノベーターなのです。イノベーターがいるからこそ、その後が続く人たちが出てくるのです。

当社は、2028年のロサンゼルスオリンピックへの夏季3大会連続となる寝具提供を目指しています。そして今年、アメリカ市場に再挑戦します。時間はかかりますが、アメリカで成功を取めることで、皆様のような世界で戦える会社に近づきたいと思っています。これからも“モノづくり地域・中部”から「睡眠の質」を世界中に提供してまいります。

第13回定時総会

6月19日(水)、中経連は第13回定時総会を名古屋市内にて開催。オンラインで視聴した約30名を含む約210名が参加した。

水野会長開会挨拶

<社会情勢>

現在、日本経済は約30年ぶりの高水準となった賃上げを追い風に、長らく続いたデフレに終止符を打ち、コロナ禍からの完全復活に向けた「再出発の時」を迎えている。しかし、円安による輸入物価の上昇が個人消費に影を落とし、ウクライナや中東情勢の不安、停滞する中国経済、さらには11月のアメリカ大統領選挙の行方により、世界経済の先行きはますます不透明になることが予想される。



<新たなビジョンの策定に向けて>

このように経済の回復基調に不確実性がある中でも、歴史的な転換点を確実に捉え、中部経済を一段と高い成長軌道に乗せるために、中経連は現在、2050年頃を見据えたビジョンの策定に向けて議論を進めている。日本の出生率は過去最低を更新しており、2050年頃の社会は「労働力の稀少化」や「経済規模の縮小」に直面することが予想される。人口減少社会においても、当地が持続的に成長していくためには、以下の3つの視点が重要と考えている。

1. 産業の進化と多様化
 2. 人材育成と働き方の進化
 3. 若者をはじめ多様な人材が集う魅力ある地域社会の形成
- ビジョンでは、2050年頃の当地のあるべき姿

を描き、その実現に向けて、この3つを柱とした具体的な取り組みを明確にしていく。

<2024年度の活動方針>

中期活動指針「ACTION2025」の4年目を迎える今年度は、これまで以上に「実行」にこだわり、計画を具体化し粘り強くやり遂げることに力を注ぐ。政策提言団体として、「日本中央回廊」の効果最大化に向けた道路整備やエネルギー基本計画改定に対する提言、税制改正の要望などを国へ届けることや、将来世代の活躍に向けた人材育成に力を入れることはもちろん、今まで以上に産学官の強固な連携を前提とした活動に注力していく。

例えば、カーボンニュートラルの分野では、今年結成された中部5県の全国立大学、高専による連携組織「C²-FRONTS(シー・フロンツ)」が研究や教育分野での協働に向けた議論を進める中、中経連としても、来月、シー・フロンツと共催するシンポジウム*などを通じて産学をつながり深め、取り組みを強化していく。

イノベーションの創出にあたっては、中経連が運営するナゴヤ イノベーターズ ガレージと、愛知県が進めるステーションAiや大学などのスタートアップ育成拠点が連携し、共に創る「共創」と競い合う「競争」を積み重ねながら、エコシステム形成に向けて面的な活動を展開していく。

その起爆剤として、2025年2月には、愛知県や名古屋市、名古屋大学などとともに、中部圏初となる5,000人規模のグローバルスタート

アップイベント「Tech GALA Japan(テックガラ ジャパン)」を開催する予定である。海外からの参加者も多数募り、このイベントを通じて、当地で起業する利点を国内外へ発信し、ものづくり産業とスタートアップの融合による独自の産業創出につなげていきたい。

※本誌11ページ参照

＜アジア・アジアパラ競技大会の成功と会員増強に向けたお願い＞

2025年4月に開幕を迎える大阪・関西万博に続き、2026年9月にはここ愛知、名古屋で「アジア・アジアパラ競技大会」が開催される。この大会は、競技種目数、参加選手数ともに東京オリンピックを上回る規模であり、スポーツのエネルギーが当地に活気をもたらし、中部圏の魅力を発信する絶好のチャンスである。大会の成功に向け、経済界として大いに盛り上げていきたい、協力をお願いしたい。

また、中部圏の声をさらに大きな力に変えて国へ届けるために、会員増強を図り、当会をより層の厚い団体にしていきたい。今年度は、会員向けサービスの向上をはじめ、活動を強化していくため、皆様にも当地の活性化に尽力くださる企業や団体をご紹介いただけたら幸いである。

＜おわりに＞

定時総会の節目にあたり歴史を振り返ると、中経連は戦後の混乱期にあり先行き不透明な1951年に創立された。後に制定されたシンボルマークには中部5県の飛躍や連携、求心力の想いが込められ、くすみのない朱色は「晴れやかな景気」を象徴している。創立以来70年以上の歴史と共に歩んできたこの理念は今後も変わることなく、当地の産学官と地域をつなぎ、



中経連
シンボルマーク

ベクトルを合わせることで持続的な経済成長への道を切り拓くことが、私たちの果たすべき役割である。

会長就任から丸4年を迎えた今、私は当地のさらなる発展と若者が躍動する未来の実現に向けて、一層の情熱を注いでいく所存である。ここにお集まりの皆様と力を合わせ、先達から託された使命を全うするためにも、変わらぬご支援とご協力をお願いしたい。

定時総会概要



定時総会の議事では、「2023年度事業報告および附属明細書」「2024年度事業計画書および2024年度収支予算書」について報告した。また、「2023年度計算書類等(案)」「理事23名選任」について審議し、原案どおり承認された。

議事終了後、水野会長は、本総会をもって退任される副会長の寺師茂樹氏に謝意を表明した。

定時総会に引き続き、第51回理事会、記念講演会ならびに会員交流会を開催した。記念講演会では、相澤病院ブランドアンバサダーの小平奈緒氏より「人とつながる」と題して講演いただいた。

[総務・会員サービス部 伊藤]

新役員体制

(2024年7月時点、敬称略)

会 長	水野 明久	中部電力(株) 相談役
副 会 長	中西 勝則	(株)しずおかフィナンシャルグループ 代表取締役会長 (株)静岡銀行 特別顧問
	柘植 康英	東海旅客鉄道(株) 取締役相談役
	村瀬 幸雄	(株)十六銀行 代表取締役会長
	安藤 隆司	名古屋鉄道(株) 代表取締役会長
	大島 卓	日本ガイシ(株) 代表取締役会長
	中田 卓也	ヤマハ(株) 取締役会長
	神野 吾郎	(株)サーラコーポレーション 代表取締役社長 兼 グループ代表・CEO
	伊藤 歳恭	(株)百五銀行 取締役会長
	勝野 哲	中部電力(株) 代表取締役会長
	大西 朗	(株)豊田自動織機 取締役
	安藤 仁	日本トランスシティ(株) 代表取締役社長 社長執行役員
	碓井 稔	セイコーエプソン(株) 相談役
	松下 正樹	(株)八十二銀行 代表取締役頭取 頭取執行役員
	高原 一郎	(株)三菱UFJ銀行 取締役副頭取執行役員
	青木 武志	イビデン(株) 代表取締役会長
	宮崎 洋一	トヨタ自動車(株) 取締役・執行役員・副社長
理 事	松尾 清一	国立大学法人東海国立大学機構 機構長
	中村 宗一郎	国立大学法人信州大学 学長
	平光 範之	日本製鉄(株) 常務執行役員名古屋製鉄所長
監 事	大津 正己	川北電気工業(株) 代表取締役社長
	石川 卓	(株)みずほ銀行 常務執行役員
	本中野 真	エスパシオエンタープライズ(株) 代表取締役社長
	小澤 勝彦	東邦ガス(株) 取締役常務執行役員
事務局役員	増田 義則	専務理事
	宮本 文武	常務理事事務局長
	根本 恵司	常務理事

静岡県との懇談会

中経連は毎年度、中部5県および名古屋市との間で、各県・市が向き合う諸課題や施策の方針を共有し、連携を深めるための懇談会を開催している。7月17日(水)に静岡県との懇談会を開催し、静岡県からは鈴木知事、森・増井副知事をはじめ9名、中経連からは水野会長、中西・中田・神野副会長をはじめ9名が参加した。

※名古屋市(8/6)、長野県(8/20)、愛知県(9/3)との各懇談会は11・12月号、岐阜県(11/11)は2025年1・2月号、三重県(12/25)は3・4月号にて掲載予定。



冒頭挨拶で、水野会長は「リニア中央新幹線の静岡工区の早期着工など、中部圏ならびにわが国のさらなる経済発展に向けた活動に、強力なリーダーシップと実行力を発揮することを期待する」と強調した。

鈴木知事は「リニアをはじめとする懸案の課題にスピード感をもって取り組んでいきたい」と応じた。

自由懇談では、静岡県の東部・中部・西部それぞれの地域特性に応じた地域活性化、スタートアップ支援、近隣県との連携などについて意見を交わした。また、リニアの静岡工区を巡ってはスピード感を持って、さまざまな観点から丁寧な議論を重ね、前に進めていくことが重要との認識で一致した。



[企画部 櫻井]

三重地域会員懇談会

中経連は毎年度、会員の皆様からの意見を今後の事業活動に生かすことを目的に地域会員懇談会を開催している。7月10日(水)に三重県津市で開催した地域会員懇談会には、水野会長をはじめ25名が参加した。当日は、水野会長の挨拶に続き、事務局から2024年度の主要事業活動について説明した後、意見交換を行った。参加者からの主な発言は以下のとおり。



IXホールディングス 浜田社長

・中部圏の強みであるものづくりを中心とした産業観光と三重県の観光資源をうまくリンクさせた広域観光の活性化に期待している。例えば、三重県が誇る真珠産業や伊勢神宮など、さまざまな切り口でも連携すると良い。

・ものづくりが盛んな中部圏においても、人材の不足や流出が起きている。製造業に根強くあるアナログなイメージも影響している。現状、ものづくりの現場では、IoTの導入やロボットによる自動化・省力化のほか、システム化やペーパーレス化などのデジタル化がかなり進んでいる。そういった現状を広く情報発信し、多様な人材を呼び込むための活動の中経連にお願いしたい。



光機械製作所 西岡社長



[総務・会員サービス部 柳田]

2024年10月31日(木)、名古屋市鶴舞に日本最大のオープンイノベーション拠点「STATION Ai(ステーションAi)」が誕生します。本施設では、愛知県がスタートアップの創出・育成やオープンイノベーションの促進に向けて、国内外のスタートアップ支援機関・大学との連携などを通じて、さまざまな支援サービスを提供する予定です。今回はグランドオープン控えるSTATION Aiをご紹介します。



中部圏の持続的な成長とイノベーションの加速

中部圏は、「水」「土」「木材」「糸」「鉄」、主要な都市を結ぶ「道」という6つの資源を基盤に、400年以上、優れた品質の製品を開発してきた。現在では、国内製造品出荷額が45年連続1位の地域として成長している。他方、世界を見渡すと、新たな価値観や最新のテクノロジーを駆使したサービスやイノベーションが

次々と誕生しており、中部圏においても新たな産業や価値を創出する必要がある。2019年に中経連と名古屋市が設立した「ナゴヤ イノベーターズ ガレージ」や「なごのキャンパス」などの支援拠点に続き、今年誕生するSTATION Aiにより、中部圏のイノベーション創出活動はさらに加速していく。

日本最大のオープンイノベーション拠点の誕生

「STATION Ai」は、国内外のスタートアップ支援機関・大学との連携などを通じて、スタートアップの創出・育成やオープンイノベーションを推進することを目的に2024年10月、名古屋市の鶴舞公園南側にオープンする。本施設は公園環境との一体感を意識しデザインされた外観のほか、施設内には一般の方も利用可能なカフェレストランやホテルなどを備えるなど、「地域の憩いの場」をコンセプトに設計された。

オフィス会員専用のフロアには「個室」「固定席」「コワーキング席(フリーアドレス)」のほか、会員が希望する用途に対

応できる座席メニューが用意されている。また、オープン時には、スタートアップ500社、パートナー企業200社の集積を予定しており、本施設に常駐するコミュニティマネージャーが会員間の活発なコミュニケーションを促進し新しい出会いを生み出していく。



STATION Ai(株)からのメッセージ

2024年10月、いよいよ「STATION Ai」が開業します。長らく日本経済を牽引してきた中部圏の既存企業は、技術力や豊かな人材を持ち、スタートアップをはじめとする新規事業創出が勃興する土壌として国内に比類のないものがあります。既存産業の強みとスタートアップの革新性やエネルギーが融合した時、当地は飛躍的に発展するとともに、これからの日本を代表する技術や事業が誕生するポテンシャルは計り知れません。本施設を中部圏に設立する意義はここに集約されます。

これまで数多くのスタートアップと接してきましたが、スタートアップの成長には既存事業との協業が不可欠です。そして、スタートアップと協業することで既存事業がより強く魅力的な事業にアップデートされます。このスタートアップと既存事業が共に成長するオープンイ

ノベーションこそが、中部圏のポテンシャルを最大にする方法と確信し、STATION Aiが「オープンイノベーションの聖地」となることを目指します。

日本全国にスタートアップ支援拠点はありますが、企業がこれほど集まり、スタートアップとともに新規事業の創出を目指していく場所は他にありません。

中部圏の皆様とともに成長していくSTATION Aiと なっていけるよう、尽力してまいります。



STATION Ai株式会社
代表取締役社長兼CEO 佐橋 宏隆

施設のご紹介

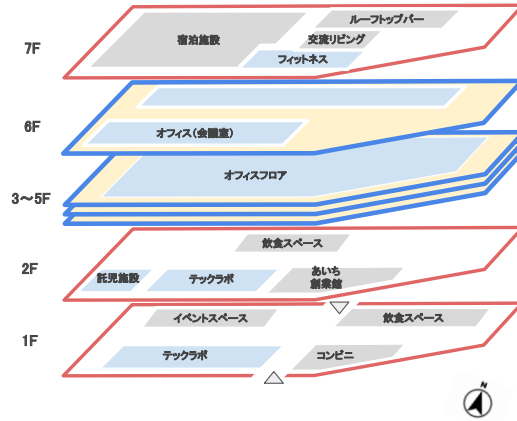
施設内部は全てのフロアがスロープでつながり、壁のない構造とすることで、利用者の交流を促す設計となっている。

◆一般開放ゾーン◆(1・2・7階)

一般の方が利用可能なイベントスペースやレストラン、ホテルなどが入る。

◆会員専用ゾーン◆(3～6階)

オフィス会員に限定して利用可能



●会員専用ゾーン

スタートアップ・企業の利用が可能

●一般開放ゾーン

スタートアップ・企業だけでなく、学生や近隣住民の利用が可能

オフィス会員の皆様へ用途に応じた座席メニューをご用意

個室

セキュリティが確保された活動拠点としての利用を想定したスペース。

固定席

ワークプレイスを確保しつつオープンな環境での交流を想定したスペース。

コワーキング席

偶発的な出会いにつながる入居企業間の交流や情報交換の場を想定したスペース。

< 入居タイプ別料金表 >

個室

4名部屋から
¥125,000/室・月～
(定価: ¥250,000/室・月～)

固定席

2名部屋から
¥40,000/室～
(定価: ¥80,000/室～)

3 テックラボ固定席

4名部屋のみ
¥200,000/室
(定価: ¥400,000/室)

4 コワーキング

¥15,000/席
(定価: ¥30,000/席)

※税別料金となります。 ※スタートアップは、オフィス会員プランの月額料金の半額を愛知県が負担するため、実質的に半額での利用が可能(原則2年間) ※完成予想CGにつき実際と異なる場合があります。

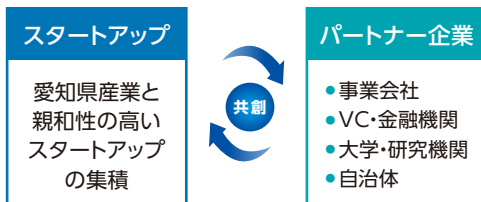
オープンイノベーションの推進に向けて

新しい事業を創出し既存事業を発展させるためには、スタートアップをはじめとする他の主体とリソースを提供し合い、新たな事業機会を生み出していくことが不可欠である。今や誰もが利用している「Google Maps」や「Gmail」もオープンイノベーションの末に完成したサービスと云われている。

本施設では、企業向け「オープンイノベーション支援」として、事業を生み出すためのプロセスを4つのフェーズ(「定める」「探す」「作る」「育てる」)に分け、必要な支援を提供。各社のニーズに応じて、オープンイノベーションを誘発させるコーディネーターが伴走支援する。

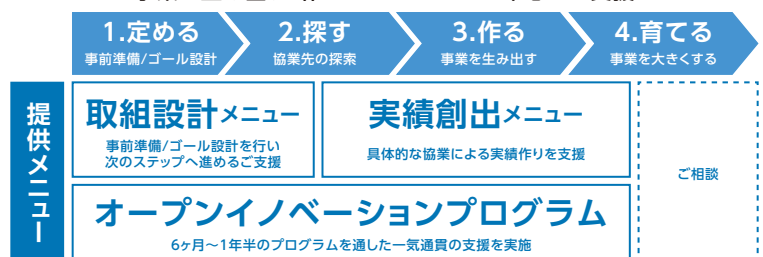
施設開業後のSTATION Ai 活動方針

スタートアップとパートナー企業の
オープンイノベーションを強力に推進



STATION Ai が提供するご支援

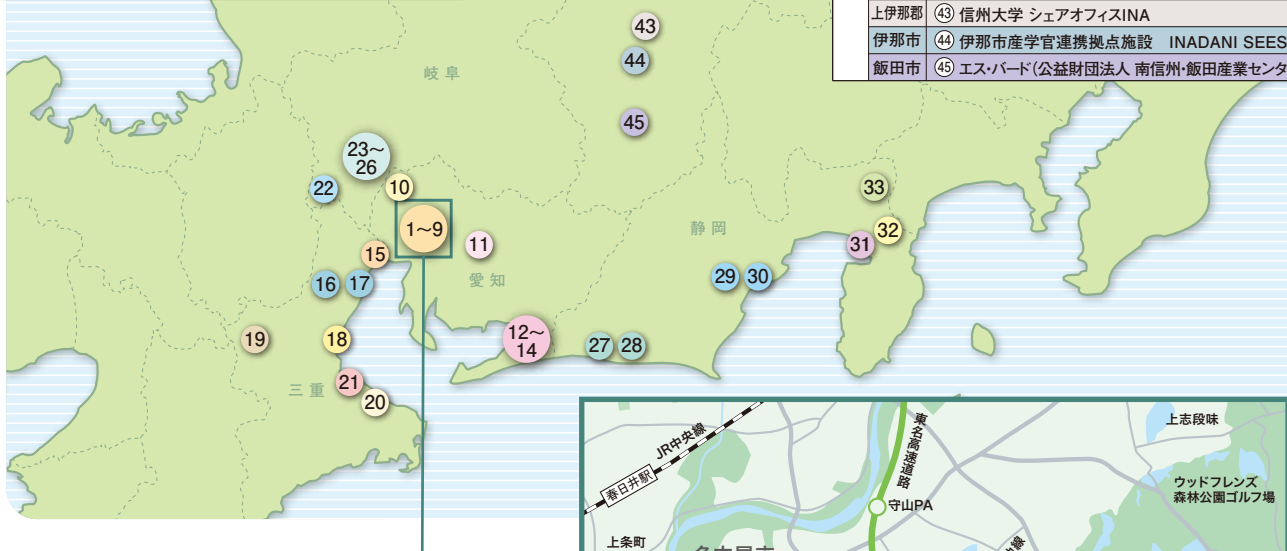
事業を生み出す“作る”フェーズまでを中心にご支援



中部圏の主要な共創・スタートアップ支援拠点 MAP

愛知県	1	ナゴヤ イノベーターズ ガレージ
	2	なごのキャンパス
	3	STATION Ai
	4	名古屋大学 OICX
	5	名古屋大学 インキュベーション施設
	6	名古屋大学共創スタジオ Idea Stoa
	7	TOIC NAGOYA Tokai Open Innovation Complex
	8	名古屋医工連携インキュベータ (NALIC)
	9	クリエイション・コア名古屋
一宮市	10	一宮市SOHOインキュベータオフィス
豊田市	11	ものづくり創造拠点SENTAN
	12	豊橋サイエンスコア
豊橋市	13	emCAMPUS STUDIO
	14	MUSASHi Innovation Lab CLUE
桑名市	15	コワーキングスペース CriLab (クリラボ)
	16	BizSQ・41 (ビズ・スクエアよっかいち)
四日市市	17	四日市 ビジネス ステーション (YBS)
	18	三重大学 キャンパス・インキュベータ
伊賀市	19	産学官連携地域産業創造センター ゆめテクノ伊賀
伊勢市	20	SAND BOX
多気郡	21	三重明和インキュベーションセンター

岐阜県	大垣市	22	ソフトピアジャパンセンタードリーム・コア
	岐阜市	23	NOBUNAGAキャピタルビルレジ
		24	Neo work-Gifu (ネットワーク岐阜)
		25	INNOVATOR'S VILLAGE
		26	TOIC GIFU Tokai Open Innovation Complex
静岡県	浜松市	27	Co-startup Space & Community FUSE
	28	Startup Cross Hamamatsu (スタートアップクロスはままつ)	
	静岡市	29	静岡市コ・クリエイションスペース
	30	SHIP - SHIZUOKA INNOVATION PLATFORM	
	沼津市	31	ぬましんCOMPASS NUMAZU
三島市	32	LtG StartupStudio	
	御殿場市	33	ぬましんCOMPASS GOTENBA
長野県	長野市	34	信州スタートアップステーション nagano
		35	FEAT.SPACE ACTIVATION HUB
	松本市	36	信州大学 シェアオフィスNagano EDU
		37	信州大学 シェアオフィスNagano TEC
	上田市	38	33GAKU (サザンガク)
		39	信州スタートアップステーションmatsumoto (33GAKU内)
	佐久市	40	信州大学 シェアオフィスMatsumoto
		41	信州大学 シェアオフィスUeda
	上伊那郡	42	ワークテラス佐久
	伊那市	43	信州大学 シェアオフィスINA
飯田市	44	伊那市産学官連携拠点施設 INADANI SEES	
	45	エス・バード (公益財団法人 南信州・飯田産業センター)	



文:イノベーション推進部 山下
 文章協力・写真提供:STATION Ai(株)

STATION Aiの
 詳細は公式HPへ

委員会とは

中経連では、12の委員会を設置し、国内外の経済社会などに関する諸問題について調査研究・提言を行うなど、さまざまな活動に取り組むとともに、活動を通して会員相互の交流を図っています。会員登録者であれば、委員会に参加することができます。

第1回税制委員会

開催日 6月11日(火)

参加者 委員長の伊藤副会長をはじめ20名

第1部の講演会では、京都大学大学院経済学研究科教授の諸富 徹氏を講師に迎え、「子育て支援にみる税と社会保険料のあり方」をテーマに講演いただいた。第2部では、事務局より、「2025年度税制改正に対する意見」の骨子案について説明し、意見交換を行った。人手不足や子育て支援に対する税での支援について多くの意見が出された。



伊藤委員長



諸富氏

[調査部 北岡]

第1回国際委員会

開催日 7月16日(火)

参加者 委員長の大島副会長をはじめ23名



大島委員長

外国人材の活躍推進と多文化共生の基盤強化を目的に実施している「外国人留学生への国内就職支援活動」および「外国にルーツを持つ児童・生徒向け日本語・学習支援教室への支援活動」の現況について報告した。委員会終了後には、グローバルセミナー*を開催。「米大統領選と米中対立の影響」をテーマに、国際経済研究所・主席研究員の栗原浩史氏を講師に迎え、講演いただいた。

*講演要旨は11・12月号掲載予定。

[国際部 岡戸]

中経連ホームページでは掲載の記事について、詳しく紹介しています。

<https://www.chukeiren.or.jp/committee/>



新しい仲間のご紹介を!!

中経連では、会員の皆様との活発な意見交換をもとに、デジタル化・DXの推進、2050年カーボンニュートラルの実現、イノベーションの活発化など、中部圏ひいてはわが国の発展に向けたさまざまな活動に取り組んでおります。これまで以上に地域の期待に応え、より大きな成果をあげていくためにも、ともに活動いただける仲間をさらに増やしていきたいと思っております。会員の皆様におかれましては、是非とも新しい仲間をご紹介いただければ幸いです。何卒ご協力をお願い申し上げます。

中部の未来を
ともに考え
行動してみませんか

会員増強にご協力ください

【お問い合わせ先】総務・会員サービス部 伊藤 TEL052(962)8091

ダイジェストとは

中経連の中期活動指針「ACTION2025」で3本柱として掲げる「付加価値の創造」「人財の創造」「魅力溢れる圏域の創造」に基づいた、さまざまな活動や行事などをご紹介します。

6月
10日
(月)

駐日モンゴル国大使との懇談

駐日モンゴル国特命全権大使のバヤルサイハン・バンズラグチ閣下ならびに在名古屋モンゴル国名誉領事の安藤琢弥氏が中経連を訪れ、水野会長以下幹部と懇談した。
[国際部 樹下]



6月
14日
(金)

外国人留学生と企業との交流会



中経連は（一社）グローバル愛知[※]と共同で、外国人留学生と企業との相互理解促進を目的とした交流会を開催した。本活動は2022年度から始めたもので、今回は中部圏に所在する11の大学・大学院に所属する留学生25名（7の国・地域）、企業6社9名の計34名が参加した。

[※]中堅・中小企業の人材不足解消や留学生の就職率向上と定着に取り組む非営利団体。

[国際部 岡戸]

6月
14日
(金)

中部国際空港利用促進協議会 理事会・賛助会員大会

中部国際空港利用促進協議会（代表理事：水野中経連会長、嶋尾名古屋商工会議所会頭）は、2024年度の理事会・賛助会員大会を名古屋市内で開催した。賛助会員大会の冒頭挨拶で水野代表理事は、国際線の戻りが遅い現状を踏まえ、地元企業の皆様に対して、出張時に原則セントレアを使っていただくなど、セントレアのさらなる飛躍に向けた力添えを訴えた。

[産業基盤強化推進部 水田]



7月
3日
(水)

名城大学特別講義[※]



名城大学の経済学部専門科目「中小企業論」（担当：太田志乃准教授）において、約60名の学生を前に中経連企画部の渡邊が講師を務めた。講義では、中小企業が果たす役割や大企業との違い、直面する課題などを説明した上で、独自の強みを生かして優れたものづくりを展開している当地域の企業を紹介し、日本経済における中小企業の重要性を伝えた。

[※]産学共創によるキャリア教育の実践策として、会員企業から会員大学に講師を派遣する「キャリア教育共創プログラム」の一環として実施。

[企画部 渡邊]

7月
8日
(月)

イタリア共和国プーリア州経済開発評議員との懇談

イタリア共和国プーリア州※アレッサンドロ・デッリ・ノーチ経済開発評議員ならびにマルコ・プレッチペ在大阪イタリア総領事ら関係者7名が中経連を訪れ、水野会長以下幹部と懇談した。

※ブーツの形をしたイタリア半島のかかと部分に位置し、航空宇宙産業や自動車部品製造業、観光産業などが盛んな地域。

[国際部 樹下]



に挑み、ともに実る～」をテーマに講演いただいた。続いて、「シー・フロンツが提案するカーボンニュートラルへのチャレンジ～技術革新で、新たな連携で～」と題したパネルディスカッションを実施。産学官の関係者がパネラーとして登壇し、各取り組み事例を紹介した上で、産学官金の新たな連携のあり方などについて意見交換を行い、次の具体的なアクションへの機運を醸成した。

[社会実装推進部 森]

7月
9日
(火)

第2回カーボンニュートラル共創シンポジウム

中経連は、「第2回カーボンニュートラル共創シンポジウム—脱炭素を加速する為に、今何が必要か?—」を、東海・信州 国立大学連携プラットフォーム(C²-FRONTS)と名古屋大学で共同開催した。水野会長をはじめ参加者165名が来場したほか、492名がオンライン視聴した。

基調講演では、みずほフィナンシャルグループ執行役員グループCSuO(Chief Sustainability Officer)の牛窪恭彦氏を迎え、「脱炭素社会の実現に向けて～とも

7月
11日
(木)

中学生を対象としたカーボンニュートラル教育

中経連はエネルギー・環境委員会による活動の一環として、暁中学校・高等学校で中学二年の生徒82名と教師を対象に、カーボンニュートラル(以下、CN)を題材とした出前教育を開催。中部コールセンター(株)と(公財)国際環境技術移転センター(アイセツト)より講師を迎え、「CN実現の必要性」と「地域の企業や団体におけるCNの取り組み」について講義を行った。講義では、講師と生徒による意見交換が行われ、CNに対する関心を高めた。

[社会実装推進部 後藤]



7月
15日
(月)

愛知大学講義※

愛知大学国際コミュニケーション学部で、「地球環境問題とそれに対する国際社会の対応」の講義を受けた学生がさらに知識を深めるための授業「演習I」(担当:八木一行教授)において、約13名の学生を前に、中経連社会実装推進部の

後藤が講師を務めた。講義では、エネルギー・環境に関する昨今の国内外における動向のほか、脱炭素社会の実現に向けた中部圏の取り組みや新技術を社会実装させるために必要なことについて紹介した。

※産学共創によるキャリア教育の実践策として、会員企業から会員大学に講師を派遣する「キャリア教育共創プログラム」の一環として実施。

[企画部 渡邊、社会実装推進部 後藤]

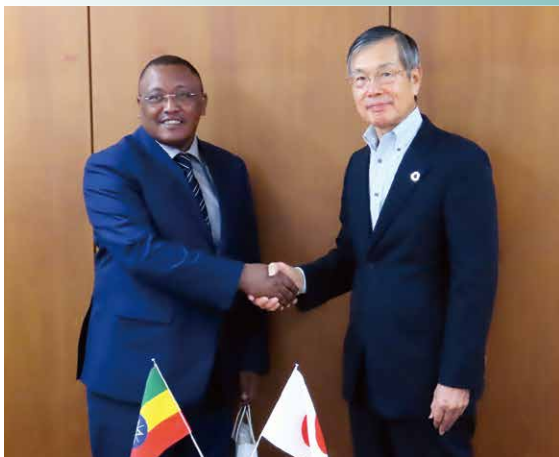


7月
23日
(火)

駐日エチオピア連邦民主共和国 大使との懇談

駐日エチオピア連邦民主共和国特命全権大使のダバ・デベレ・フンデ閣下ならびに在名古屋エチオピア名誉領事の松本定道氏(中京総合警備保障(株)相談役)が中経連を訪れ、水野会長以下幹部と懇談した。

[国際部 岡戸]



7月
26日
(金)

7月度定例記者会見

中経連は総合政策会議終了後、水野会長の定例記者会見を行い、中経連の足元における活動として、

- ①カーボンニュートラルの実現に向けた取り組み※1
 - ②静岡県との懇談会※2
- などについて紹介した。

※1 本誌11、19ページ参照 ※2 本誌5ページ参照

[総務・会員サービス部 横山]



中経連ホームページでは、掲載の記事について詳しく紹介しています。

<https://www.chukeiren.or.jp/newscat/report/>



「コーヒープレイク」は、会員の皆さまの趣味や日課などの「オフ」を中心に、寄稿者さまと読者の皆さまがコーヒーを飲みながら雑談しているような、「ホッ」と一息つけるコラムを目指しています。



Coffee break

コーヒープレイク

中経連会員コラム

4

登山が趣味の私は、昨年50歳になるのを機に長年憧れていた北アルプスの盟主・奥穂高岳へのチャレンジを決めました。私は毎日の地道なトレーニングが続かない性格ですが、「さすがに何もしないで挑戦するのは無謀だろう。死ぬかもしれない。さあどうしたものか」と考え、ほぼ毎週プレーしているゴルフで、ホール間の移動も含めすべて歩くことにしました。すると効果観面！みるみるうちに、ふくらはぎの大きさが増し、約三か月で全ホールを苦もなく歩いてラウンドできるようになりました。

同年九月初旬、友人二人と奥穂高岳へ挑み、無事登頂に成功。途中「ここを踏み外したら、助からないな」という難所がいくつもありましたが、冷や汗をかきながら何とかクリア。早朝の頂から眺めた360度の景色は雄大で美しく、地球の息吹を感じました。標高3,000Mの山小屋から見た満点の星空、下山途中で食べた絶品の野沢菜チャーハンと共に最高の思い出です。

この経験は大きな自信となりましたが、経営者である自覚も持ち、今後も安全に長く登山を楽しみたいと思います。

清和海運株式会社
代表取締役社長

宮崎 祐

MIYAZAKI
YUICHI

次号は株式会社岐阜グランドホテルの代表取締役社長 岩瀬正明様の予定です。

「明日へのチャレンジ」で 皆様の取り組みを紹介してみませんか

本コーナーでは、社会課題の解決、業務革新、人材の育成などに積極的にチャレンジしている企業や団体をご紹介します。中経連会員の皆様を中心に、広く取材先を募集しておりますので、以下をご確認の上、ご連絡・お問い合わせください。読者の皆様への情報発信はもちろん、新たな交流のきっかけになれば幸いです。

テーマ

デジタル化・DX

カーボンニュートラル

人材育成・確保

など

中経連が注力しているテーマを中心に、「他者に誇れる取り組み」「新たに始めた活動」「地域と一体となって取り組みたいチャレンジ」を紹介します。

掲載方法

取材の上、A4・2ページ程度で会報誌ならびに中経連HPに無料掲載いたします。

注意事項

- ◆ 企業・団体などの活動紹介を目的としているため、個別の商品紹介や宣伝などの営利的内容はお控えください。
- ◆ お申込み状況・内容によっては掲載時期を調整させていただく場合がございます。

お問い合わせ先

[担当] (一社)中部経済連合会 総務・会員サービス部 平山 [E-Mail] kikanshi@chukeiren.or.jp



GARAGE Guide

ナゴヤ イノベーターズ ガレージ(以下、NIG)のスタッフが、スタートアップ・イノベーション創出に向けた活動や運営の裏側などをご案内します。今回は、2024年度から開始した事業会社向け新規事業創出プログラム「Innovators Dojo(イノベーターズ道場)」についてご紹介します。

「共創・実践」領域プログラム Innovators Dojo

2024年度、NIGは新規事業担当者などを対象に「マインド形成」「気づき・発見」「融合・成長」「共創・実践」の4つの領域で計10のプログラムを展開している。

「マインド形成」：リベラルアーツ※講座。

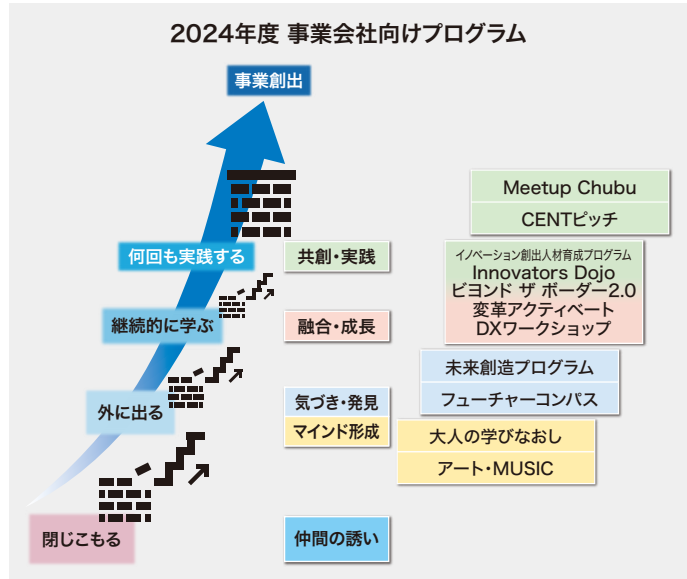
「気づき・発見」：講演会、パネルディスカッション。

「融合・成長」：オープンイノベーションにおいて新規事業創出を目指すイノベーターの人材育成講座。

「共創・実践」：新規事業活動につげるためのネットワーキング。

その内、「Innovators Dojo」は「共創・実践」領域に位置している。

※明確な答えがない問題や課題に多角的な視点で解決策を見出す力が身に付く学び。



新規事業創出の最前線

「Innovators Dojo」は、NIGのメンター企業である(株)ゼロワンブースターによる協力の下で開始した事業会社向けの新規事業創出支援プログラムである。本プログラムは、2か月間で全6回のセッションを開催。「行動からのフィードバック」を通じて実践を促進し、新規事業の創出を目指す。座学ではイノベーション創出理論、実践では市場調査や事業アイデアの生成から事業創造プロセス、提供価値の構築、予測損益の算出および成長戦略の策定までをメンターの伴走支援を受けながら集中的に学ぶ。

今年6月20日(木)からスタートした第1クールには11の企業から計27名が参加。新規事業創出を目指し、自身の頭脳と実践力を用いて全力で取り組んでいる。第2クールは11月12日(火)より開始予定。

企業が新規事業を



詳細はこちら

展開する上では課題の深掘りが重要である。NIGでは今後もさまざまな角度から積極的な支援に取り組んでいく。



Innovators Dojo 第2クール日程表

日程	内容
DAY1 11/12(火)	事業創出を行う上での前提合わせ 事業性や強み、内発的動機やチーム作り、ピボットなど事業を行う上での基本的な前提を学ぶ。
DAY2 12/2(月)	市場調査と事業アイデアおよび事業創造プロセス 市場や関連するサービスから生み出される事業案の考え方、シーズを基にした事業開発を学ぶ。 ※交流会有(参加任意)
DAY3 12/11(水)	顧客課題と提供価値 顧客課題の特定顧客インタビューなどをベースに理解し、Value Proposition Canvas(自社製品・サービスが顧客の状態・ニーズにマッチしているか可視化するフレームワーク)などを用いて提供価値との突き合わせを行う。
DAY4 12/23(月)	ビジネスモデルとピッチ(短いプレゼンテーション) ビジネスモデルやマネタイズモデルを理解すると共に、効果的なプレゼンテーションやピッチの方法を学ぶ。
DAY5 2025年 1/15(水)	予測損益および成長戦略 予測損益に関しての基本的な事項と成長戦略を学ぶ。
DAY6 1/30(木)	成果発表会(DemoDay) ピッチ(短いプレゼンテーション)形式に事業案をまとめた上で活動成果を発表。 ※交流会有(参加任意)

GARAGE Guide2

NIGは、イノベーションの創出に向けた活動を展開する上で、リベラル・アーツ*の観点を重視している。毎年、愛知県公立大学法人愛知県立芸術大学と連携した「Nagoya Innovator's Garage賞」を設け、受賞作品はイノベーションマインドを触発させる多様なアートとして、施設内に展示している。

*明確な答えがない問題や課題に多角的な視点で解決策を見出す力が身に付く学び。



2024年「Nagoya Innovator's Garage賞」作品のご紹介

2024年6月24日(月)から1年間、常時展示中



「MADE BY DREAM」 荒木 沙月 ARAKI Satsuki



幼い頃に抱いた夢は今よりもずっと自由だ。しかし、大人になると漠然とした夢の正体が明らかになり、挑戦する事さえ臆病になってしまう。そんな今でも幼少期に夢見たものは、人の数だけあるはずだ。これは、出来ないと言ったあの頃の願望を形にする事で、あなたの夢を叶えるきっかけを作る為の作品である。

2024年 樹脂粘土、木材、綿、ABSなど(H238×W336mm×50枚)



「ぼやけた世界のこと」 齋藤 里奈 SAITO Rina



人であるということは理解できるが、表情や感情は読み取れない、「誰か」をつくる。AIの発達などで進化し続ける現代社会において、自分の存在証明ができないような感覚になる。そんな現代の人々に抱いている漠然とした不安や、曖昧な感覚を彫刻として作品にしている。

2023年 ジェスモナイト(H1770×W410×D390mm)



「太陽を仰がず」 今井 歩美 IMAI Ayumi



木版画にインスピレーションを受け、木を彫ることを基点に作品を制作している。木を彫る行為の中で得られる、中途の存在である自身への実感や、何か頂に登っていくような感覚を追求している。描いたドローイングをモチーフにし、平面作品を構成している。

2024年 シナ共反合板、墨汁、木彫(H1600×W1200mm)

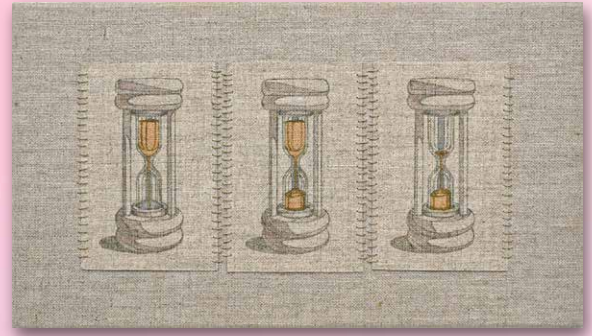


「Happy birthday to you.0904」 黒田 美南 KURODA Minami



変形キャンバスとして立体を作り、そこに絵を描く。手作りの誕生日ケーキをモチーフに、周りに存在した思いを額縁に見立て制作した。ケーキは食べたらずなくなってしまうが、思いが消えることはない。

2023年 ミクストメディア(H1900×W2000mm)



かんげき
「間隙を縫う(「hourglass II」より)」 上手 菜々美 KAMITE Nanami



キャンパス上にモチーフや画像を配置することによって生まれる空気・空間を、制作を通して探っています。言葉にはできない感覚で余白と描写のバランスを見極めているため、完成した作品から今の私自身の見方や考え方、判断を視覚的に知ることができるのです。さらに裏キャンパスのムラがある麻の布目や膠(にかわ)の滲み、油彩転写や版画技法など操作しきれない要素を用いて、画面上にわずかな揺らぎを生み出しています。

2023年 キャンパス、油彩、糸(H190×W330mm)

「自画像」 森 桜子 MORI Sakurako



自身の体験や日常的に空想するイメージを出発点に、動物を基にしたモチーフを作り出し描写する。そのモチーフは例えば鼻がないなど、不完全な形態である事にこだわりを持って制作している。自身の内面を反映し、かつ社会へのレスポンスとして根拠のある不完全なモチーフを描く事で、社会のあり方や人間の本質への理解を深めることができるのではないかとこの考えの元、日々創作活動を行っている。

2024年 インク、紙(H980×W780mm)

GARAGE Report

Report

2024.6.27 Thu.

フューチャーコンパス第43回講演会

「じわりと迫るシンギュラリティ、我々は何をすべきか」



詳細はこちら

今回のフューチャーコンパスは、(株)アキュリアス代表の齋藤和紀氏を迎え「じわりと迫るシンギュラリティ、我々は何をすべきか」と題し、講演会を開催。齋藤氏は、シンギュラリティ[※]に関連するテクノロジーの最新動向を紹介。データや数値、事例などを用いながら、我々が取るべき行動について、さまざまな切り口から示唆した。

齋藤氏は、「人間の脳は、^{ライナー}Liner(直線的な将来を予測すること)しかできない。一方、科学技術は^{エクスポネンシャル}Exponential(指数関数的な進化)が可能であり、デジタル化の加速はあらゆる既存の技術や社会構造をコモディティ化(一般化)させ、否応なしに社会や企業に変化を与えるだろう。この科学技術の進化に対応するためには、DXやAIそのものを含むAI技術を用いた製品などの『自律的に最適化し続けるモデル』を用いて既存の技術や社会構造から脱却し、環境を転換していくことが不可欠である」と語った。

※技術的特異点:人工知能が自己改良を繰り返すことにより、人間を上回る可能性。



GARAGE Schedule 2024年9月～10月プログラム・イベント予定

NIGでは、共創を通じて新規事業の創出や既存事業の変革が持続的に起こることを目指す仕組み「中部圏イノベーションエコシステム」を循環させるため、さまざまなプログラムやイベントを開催しています。

プログラム
イベント詳細
はこちら



9月4日(水) 社内DX講座(全4回)

社内のDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、競争力を強化するための実践型ワークショップ。自社に最適なDX戦略の構築やデータ活用などを実務に生かすスキルを身に付けることができます。

9月28日(土) Garage Challenge

参加者が社会などに対する「問い」を持ち寄り、賛同者を巻き込んで、プロジェクトの実践に向けた第一歩を支援する3か月間の集中プログラム。高校生から社会人までがチームとなり、座学だけでなく、実践を通じて深い気づきや成功体験を得ることができます。

午前開催 ■ 3rd term Final Pitch(最終ピッチ)聴講者募集!

第3回Garage Challengeに参加した各チームが立てた「問い」への検討結果を発表します。

午後開催 ■ 4th term First Pitch(初回ピッチ)プログラム参加者ならびに聴講者募集!

第4回Garage Challengeの初回ピッチを開催します。

10月7日(月) Innovators Academia ～新規事業の興し方～

新規事業や起業に関連する体系的な学びを提供するセミナー。

(株)ゼロワンプラスター代表取締役合田ジョージが、最新のビジネストrendと成功事例を交え、新規事業立ち上げのプロセスや戦略を紹介します。

**10月22日(火)～
2025年3月18日(火) 大人の学びなおし[全10回]**

急速に変化する現代社会では異なる視点から問題を解決する能力が求められ、日本でもリベラルアーツ*の重要性が認識されています。今年度も、各界から精鋭10名の講師陣を迎え、講座を開催します。

*明確な答えがない問題や課題に多角的な視点で解決策を見出す力が身に付く学び。

10月30日(水) DXマネジメント向けセミナー

先進的にDXに取り組む企業が、DXの本質や実践方法、最新ソリューションや成功事例について紹介するセミナー。セミナー後は、参加者同士で課題や悩み、実践事例などを共有できる交流会を開催します。

新規事業推進の最新潮流

リアルに新規事業を立ち上げるには



2023年度「大人の学びなおし」の様子

★会員募集中★



新規事業を創出・共創したい方、同じ意志を持った人とつながりたい方をお待ちしています!

ナゴヤ イノベーターズ ガレージは、(一社)中部経済連合会と名古屋市がタッグを組んで設立した会員制のイノベーションハブ施設です。5年先・10年先に向けて新規事業に取り組みたい方、同じ意志を持った人とつながりたい方、共創による新規事業創出を目指している方をお待ちしています!

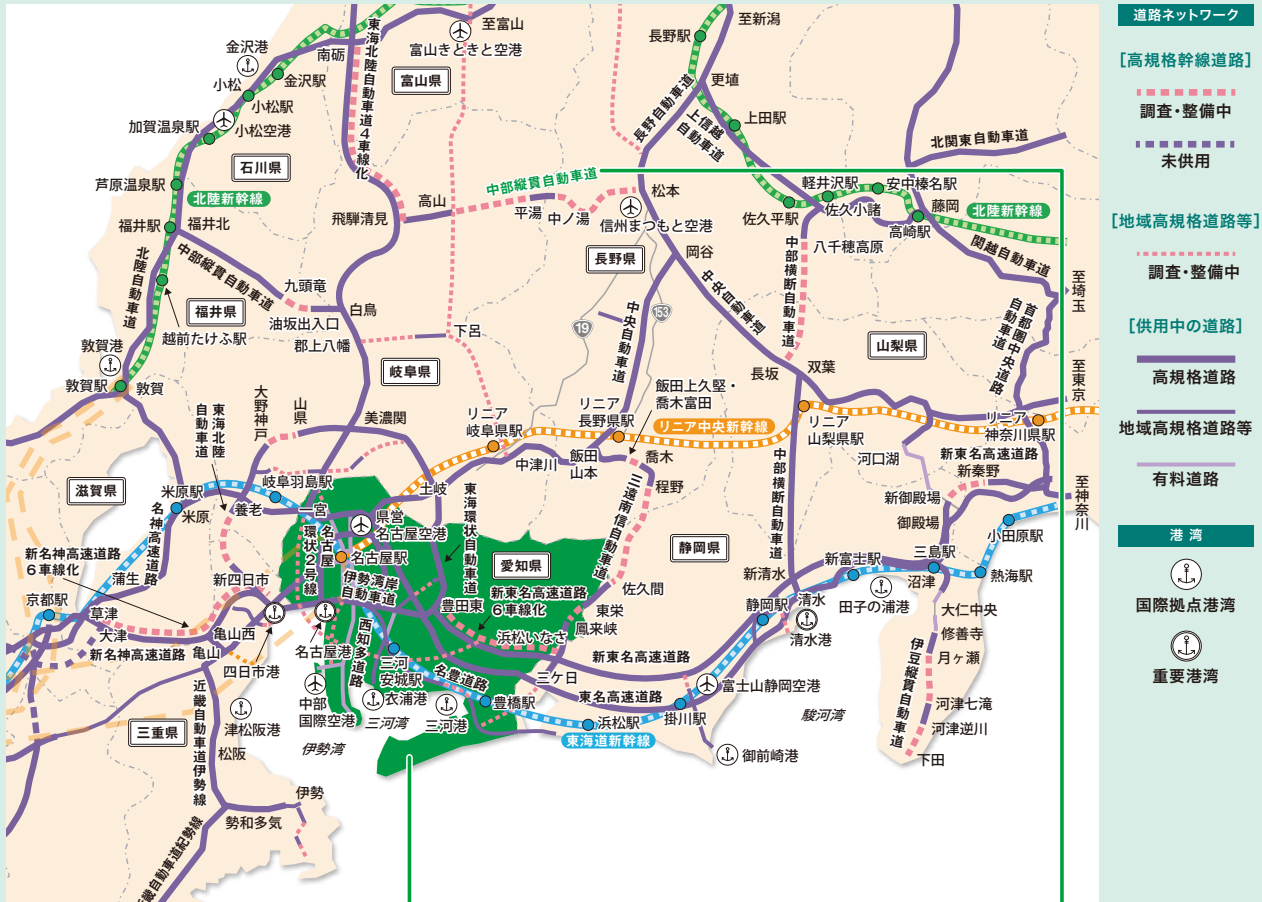
TEL : 052(253)9758 / E-Mail : info@garage-nagoya.or.jp



最近の要望活動

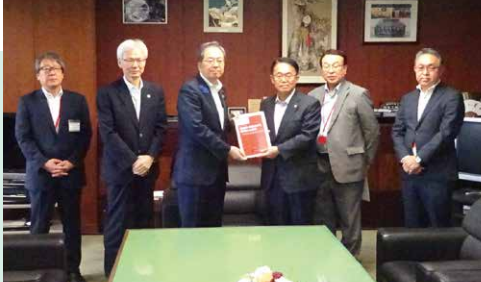
2023年度末の道路ネットワーク

中経連では、中部圏のヒトやモノの交流増進による地域活性化のほか、交通網の多重化による大規模災害への備えや交通渋滞の緩和などを旨とし、道路ネットワークの早期整備に向けた国などへの要望活動を展開しています。



- 道路ネットワーク**
- [高規格幹線道路]
 - 調査・整備中
 - 未供用
 - [地域高規格道路等]
 - 調査・整備中
 - [供用中の道路]
 - 高規格道路
 - 地域高規格道路等
 - 有料道路
 - 港湾
 - 国際拠点港湾
 - 重要港湾

7/17(水) 愛知県における広域幹線道路網などの整備推進を要望



7/22(月) 中部縦貫自動車道の早期整備を要望



7/17日(水) 愛知県における広域幹線道路網などの整備推進を要望

要望先	齊藤国土交通大臣をはじめ国土交通省幹部
要望者	中経連 根本常務理事、愛知県 大村知事、名古屋港管理組合 鎌田専任副管理者、名古屋商工会議所 田中常務理事・事務局長、中部国際空港(株) 櫻井副社長

7月22日(月) 中部縦貫自動車道の早期整備を要望

要望先	吉岡国土交通事務次官をはじめ国土交通省幹部
要望者	中経連、長野県 阿部知事、岐阜県 河合副知事、松本市 臥雲市長、高山市 田中市長、白川村 成原村長

最近の要望活動

6月7日(金)中部国際空港第二滑走路建設促進期成同盟会の要請活動

中部国際空港第二滑走路建設促進期成同盟会(会長:大村愛知県知事)は、石橋国土交通大臣政務官、瀬戸財務大臣政務官、石井公明党幹事長、梶山自由民主党幹事長代行と面談し、中部国際空港第二滑走路の整備をはじめとする機能強化の早期実現に向けた要請を実施した。中経連からは本同盟会副会長の水野会長が出席し、航空貨物が開港以来最高水準まで便数を伸ばすとともに、2年後のアジア・アジアパラ競技大会を契機に海外での認知度向上が期待される中、滑走路整備を着実に進展させることの必要性を訴えた。



7月10日(水)次期エネルギー基本計画策定に係る要望活動を実施

中経連のエネルギー・環境委員長を務める勝野副会長は、環境省八木副大臣、自由民主党の渡海政務調査会長、梶山幹事長代行を相次いで訪問し、今年5月に公表した「次期エネルギー基本計画策定に対する提言」の内容について要望した。

勝野副会長は、従来のS+3E^{*}に加え、エネルギー安全保障と経済発展を両立できる計画が必要とした上で、「安定供給を確保しつつ脱炭素を進めていくためには、トランジション技術を活用して連続的に脱炭素を進めることが必要」と強調した。中経連は今後、経済産業省幹部を訪問し、引き続き、中部経済界の声を届けていく。

^{*}安全性(Safety)、安定供給(Energy security)、経済効率性(Economic efficiency)、環境適合性(Environmental suitability)



八木環境副大臣

「中部圏デジタルのすすめ」をご活用ください

中経連が運営する、中部圏各地でデジタルを学習できる“場”を一元的に集約し発信するWEBサイト「中部圏デジタルのすすめ」では、講座の**検索機能追加**や**視認性の改善**など、利便性向上を図る**全面的なリニューアル**を実施しました。ご自身のリスキリングと組織のデジタル化・DX推進に向けてぜひご活用ください。

中部圏デジタルのすすめ

<https://central-japan.info/digital>



株式会社アイエーシーインターナショナル

当社は、1987年に自動車関連ビジネスとして、個人創業いたしました。3年後の1990年には、滋賀県彦根市で法人登記を行い、会社を設立。2016年に中部圏の愛知県清須市に進出いたしました。

主な事業としては、自動車部品およびアクセサリなどの輸出入トレード事業をはじめ、ホールディング事業、輸入車ディーラー事業を行っております。

輸出入トレード事業では北米や欧州地域、オセアニア地域、東南アジア、グレートチャイナ(大中華圏)との貿易取引を行っております。また、ホールディング事業では、事業持株会社としてグループ会社の株式を保有しております。さらに、輸入車ディーラー事業では、正規ディーラーとして、滋賀県で欧州大手のステランティス社のプジョー・シトロエン・DSオートモビルとイタリアのドゥカティ、愛知県清須市でアメリカのハーレーダビッドソンを正規販売するなど、幅広く事業を展開しています。



滋賀県彦根市 本社



中部支店(ハーレーダビッドソン尾張清須)



メッセージ

代表取締役会長 兼 CEO

今村 英二

いまむら えいじ

この度は、歴史と名誉ある中経連に入会をさせていただき、誠に光栄でございます。また、中経連の経

済活動に参加させていただくことは、私どもにとりまして重要なマイルストーンであり、中部圏の皆様との素晴らしいご縁を頂戴できることに心より厚く御礼申し上げます。

中経連の会員の皆様には、改めてご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

設立 1990年10月

事業内容 輸出入トレード事業、ホールディング事業、輸入車ディーラー事業

所在地 〒522-0222 滋賀県彦根市南川瀬町401-1

TEL 0749(25)2155



株式会社シーエナジー

当社は、中部電力グループの「総合エネルギーサービス企業」として、2001年4月にオンサイト・エネルギーサービス事業を開始し、2012年にLNG（液化天然ガス）販売事業や再生可能エネルギー事業などに進出することで、事業を拡大してまいりました。お客様の重要な経営課題である「エネルギーコストの削減」「CO₂の削減」「環境負荷の低減」を実現するため、エネルギーのプロフェッショナルとして総合的なサービスをご提供しております。

1. オンサイト・エネルギーサービス事業

お客様のエネルギー利用実態や各種ニーズに合わせた最適エネルギーシステムを設計からメンテナンスまで一括してご提案いたします。



オンサイト・エネルギーサービス事業



再生可能エネルギー事業
(地熱)

2. LNG販売事業

お客様へ安定的にLNGをお届けし、「安全・安心」の下、エネルギーをご利用できるよう設備の設計からメンテナンスまでサポートいたします。

3. 再生可能エネルギー事業

太陽光やバイオマス、小水力、地熱など環境に優しい再生可能エネルギーを活用する事業を展開しています。



メッセージ

代表取締役社長
中川 治
なかがわ おさむ

私は、中部電力(株)で長年にわたって電力・ガスなどのエネルギー営業に携わり、主に素材メーカーや半導体、自動車など、製造業のお客様を担当してきました。お客様は、事業内容によってクリーンルームや組立ラインなど、多様な生産設備を使用しておられます。一方、電力などのエネルギーインフラは

どのお客様にとっても共通なものであり、建物でいえば、「基礎」にあたるものだと考えています。「基礎」は、立派な建物のように人目を惹くことはありませんが、産業や生活などの「建物」を支える重要な役割を担っています。

当社は、お客様の自家発電設備や熱源設備などを受託し、運営する事業を展開しており、言わば基礎と建物をつなぐ「立ち上がり」のような存在です。今も昔も変わらない地味な役割ですが、基礎と一体となって、硬い地盤にしっかりと根を張り、お客様をお支える「緑の下の力持ち」でありたいと考えています。

設立 2001年4月

事業内容 エネルギー利用に関するコンサルティングとユーティリティのアウトソーシングを行う
総合エネルギーサービス事業

所在地 〒461-0005 名古屋市東区東桜1-13-3 NHK名古屋放送センタービル14F

TEL 052(950)3970



会員入会のお知らせ

7月26日(金)開催の総合政策会議において承認された新入会員をご紹介します。

【法人会員】

■ 学校法人愛知学院

[登録者] 理事長 小島 泰道^{たいどう}

[所在地] 名古屋市千種区楠元町一丁目100 [TEL] 052<751>2561

■ 株式会社鍛冶庫商店^{かじくら}

[登録者] 専務取締役 高木 健太郎

[所在地] 小牧市本庄2614-14 [TEL] 0568<79>2978

■ トヨタファイナンシャルサービス株式会社

[登録者] 代表取締役社長 頃末 広義^{ころすえ}

[所在地] 名古屋市西区牛島町6-1 名古屋ルーセントタワー15階 [TEL] 052<217>2300

■ 株式会社プロゴス

[登録者] 代表取締役社長 坪内 俊一

[所在地] 東京都渋谷区神宮前6-27-8 京セラ原宿ビル2階 [TEL] 03<5778>4310

■ 明和産業株式会社

[登録者] 名古屋支店長 中村 信司

[所在地] 名古屋市中村区名駅四丁目-5-28 [TEL] 050<3092>7660

■ 株式会社ユーネットランス

[登録者] 代表取締役社長 熊澤 洋一

[所在地] みよし市打越町南二池下60 [TEL] 0561<32>8088

■ 株式会社One Terrace^{ワン テラス}

[登録者] 代表取締役 石中 達也

[所在地] 東京都港区赤坂1-14-14 第35興和ビル3階 [TEL] 03<6555>4967

【団体会員】

■ 羽島商工会議所

[登録者] 専務理事 渡辺 憲治

[所在地] 羽島市竹鼻町2635番地 [TEL] 058<392>9664

発行日 2024年9月1日
発行所 一般社団法人中部経済連合会
〒461-0008
名古屋市東区武平町5丁目1番地
名古屋栄ビルディング10階
TEL052(962)8091 FAX052(962)8090
編集発行人 一般社団法人中部経済連合会 宮本 文武
制作 株式会社たぎコーポレーション
印刷 西川コミュニケーションズ株式会社

- 本誌に関するご意見・ご感想をお待ちしております。
E-mail kikanshi@chukeiren.or.jp
- 文責は事務局にあります。
- 落丁本・乱丁本はご面倒ですが中経連機関誌担当
までお知らせください。お取り替えいたします。
- 本誌記事・画像の無断転載・複製を禁じます。

「中経連」次号は2024年11月1日発行予定です。

本誌は再生紙を使用しております。


一般社団法人
中部経済連合会
中経連
<https://www.chukeiren.or.jp>
2024.9・10 Vol.373

9 September

- 2 (月) 9月度正・副会長会 [名古屋栄ビル]
- 2 (月) 9月度総合政策会議 [名古屋栄ビル]
- 3 (火) 愛知県との懇談会・懇親会 [KKRホテル名古屋]
- 12 (木)～22 (日) 海外経済視察団 [オーストリア、スイス、イタリア]
- 30 (月) 第1回観光委員会(講演会) [名古屋栄ビル]

10 October


- 2 (水) 第1回社会基盤委員会(講演会) [名古屋栄ビル]
- 8 (火) 西日本経済協議会 第66回総会 [下呂温泉 水明館(岐阜県下呂市)]
- 29 (火) 第1回企業防災委員会 [名古屋栄ビル]

11 November

- 11 (月) 岐阜県との懇談会・懇親会 [岐阜グランドホテル]
- 12 (火) 11月度正・副会長会 [名古屋栄ビル]
- 12 (火) 11月度総合政策会議 [名古屋栄ビル]
- 13 (水) 第1回物流委員会 [名古屋栄ビル]

12 December

- 4 (水) 12月度正・副会長会 [名古屋栄ビル]
- 4 (水) 12月度総合政策会議 [名古屋栄ビル]
- 4 (水) 会員忘年会 [名古屋市内]
- 25 (水) 三重県との懇談会・懇親会 [ホテル津センターパレス]



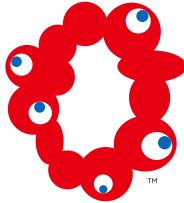
2025年大阪・関西万博 (EXPO 2025)

2025年4月13日(日)～10月13日(月)開催

公式キャラクター「ミyakumyakku」プロフィール

出生地	関西のどこかにある小さな湧水地。
性格	人懐っこいが、おっちょこちょいでよくボカをする。
特技	色々な形に姿を変えられること、雨上がりに虹を見つけること。
好きなこと	あらゆる生き物や物事と触れ合うこと。

<https://www.expo2025.or.jp/> ©Expo 2025



OSAKA, KANSAI, JAPAN
EXPO
2025